



関城西小だより「しくなる」

「せきじょうにししょう」発「しあわせみらい」行き

2021年度
第7号
10月15日発行

緊急事態宣言解除後の元気いっぱいな西小っ子

「○○ちゃん今日も来るかなあ?」「△△ちゃんと会うの久しぶりなの?」子どもたちは、それぞれがいろんな思いをもちながらも、登校を待ち望み、楽しみにしてくれていました。我々教師にとって、何よりもうれいづがやきでした。これからも楽しくしていこうね。



登校再開後の 子どもたちの様子

規則正しい生活リズムにも慣れ、日に日に子どもたちの笑顔が多く見られるようになってきたと感じています。友だちと過ごす日常が、どれほど貴重なことなのか再認識しています。



班長さんありがとう



元気いっぱい楽しみな休み時間



工夫された外国語の授業



間隔を広げて体育の授業



タブレットも自由自在



飛沫対策も万全!



ICT活用授業も日常的に



掲示物も2学期バージョン

お知らせとお願い

- 朝夕は秋らしい気候となりましたが、まだまだ日中は暑い日が続いています。健康管理へのご協力をお願いいたします。(学校生活リズムの習慣化へのご配慮もお願いいたします。)
- ◇ 欠席・遅刻・早退の連絡へのご協力ありがとうございます。今後も宜しくお願いいたします。
- ◇ 日々の学校生活において「3密」を避けた「西小版新しい生活様式」が定着してきました。この「新しい日常」が持続するように、ご家庭でのご指導も宜しくお願いいたします。
- ★ 本校ホームページトピックスは毎日更新中!ぜひ訪れてください。*新しい発見があるかも!

令和3年度 保護者学校評価（前期）の集計結果

学校評価へのご協力ありがとうございました。以下の結果をもとに、さらに児童にとって魅力ある学校づくりに努めて参ります。今後とも皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

	アンケート内容	保護者回答 (%) * 【 】内は、児童の回答			
		あてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1	お子さんは、自分から家庭学習（宿題／自主学習）に取り組んでいる。	29.2 [50.8]	51.7 [35.2]	17.4 [10.7]	1.7 [3.3]
	肯定的な捉えが80.9%と高い数値であった。反面、肯定的な捉え方に保護者と児童との差が見られる。お子様との間で、「よく頑張った」と言える状態の共通認識を図っておく必要があると考えられる。				
2	お子さんは、自分から読書をしている。	14.0 [50.8]	31.8 [35.2]	37.7 [12.1]	16.5 [1.9]
	保護者の肯定的な捉えが45.8%と低い数値であった。反面、児童の肯定的な捉えは86%と大きな開きがあることが分かった。家庭ではあまり読書をしないが、学校での読書活動が充実している点分かる。読書カード等で、保護者に学校での読書活動の様子が伝わる工夫をしていきたい。				
3	お子さんは、自分からあいさつをしている。	36.0 [57.3]	47.5 [33.9]	14.4 [7.2]	2.1 [1.6]
	肯定的な捉えが保護者83.5%、児童91.2%と高い数値であった。反面、コロナ禍での生活が続き、数値には表れてこない「声が小さくなった」「あいさつに元気がない」などの声が聞こえてくるのも実態である。あいさつの質を高めていく工夫をしていきたい。				
4	お子さんは、自分からお手伝いをしている。	26.3	47.0	22.0	4.7
	肯定的な捉えが73.3%と高い数値であった。児童の発達段階に応じた「家族の一員としての役割」を与えていただいているものと捉えられる。学校においても、今後も委員会活動や係活動、当番活動などを通して、学級等における自己有用感や自己肯定感等を高めていきたい。				
5	お子さんは、友達と助け合い、自然や生き物を大切にしている。	41.9 [77.2]	54.7 [19.2]	2.6 [3.3]	0.8 [0.3]
	肯定的な捉えが96.6%と高い数値であった。児童も96.4%と高い数値であった。臨時休業等もあったが、学校で友達と共に生活する大切さや必要性を再認識させられた。今後も、より毎日が楽しく、早く登校したくなる学校づくりを保護者及び地域の皆様と共に協働して作り上げていきたい。				
6	お子さんは、毎日元気に登校している。	71.2	26.3	0.8	1.7
	肯定的な捉えが97.5%と高い数値であった。肯定的な捉え100%を目指し、今後もより一人一人に応じた取り組みを実践していきたい。				
7	お子さんは、食べ物の好き嫌いが少なく、健康に気を付けて生活している。	39.4 [55.7]	47.0 [29.3]	12.3 [11.7]	1.3 [3.3]
	肯定的な捉えが保護者86.4%、児童85.0%と高い数値であった。学校においても職員等の健康教育をさらに充実させ、コロナに負けない体と心を育てていけるように努めていきたい。				
8	お子さんは、登下校の歩き方や自転車の乗り方、ヘルメットの着用など安全に気を付けている。	60.6 [51.8]	35.6 [38.4]	3.8 [8.5]	0.0 [1.3]
	命に関わる設問である。肯定的な捉えが保護者・児童共に90%超と高い数値であった。反面、児童の約10%が危険と認識していることに危険を認識し、ご家庭と連携して更なる安全教育を推進していく。				
9	学校だよりやホームページに目を通している。	65.3	29.2	4.7	0.8
	肯定的な捉えが94.5%と高い数値であった。非常に嬉しく安ど感も持った数値であった。今後も児童の様子や学校の取組がより正確に伝わるように努めていきたい。				

※児童の回答は、児童用アンケートより、同じような質問の内容への回答結果です。

＜ご意見やご要望等＞

- ①資料のメール配信は紙媒体のほうがよい（8）→ 連絡いただければ、紙媒体も対応いたします。
- ②登下校時の交通安全指導・見守りを希望（4）→ 努めます。ご家庭・地域のご協力もお願いします。

③その他 最初にノートを指定して欲しい 授業参観を実施して欲しい
もう少し勉強免・生活面を気にして見て欲しい 歯磨きをして欲しい
家庭学習のやり方を学年で統一して欲しい

→ <工夫等を行い、できる限り実行できるように努めて参ります。>

スクールカウンセリングはあまり助けになっていない 下校時刻が早くなっている
→ <改善を図ってまいります。> → <ご理解願います。>